

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子ども家庭福祉				
担当者氏名	西山 明子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

現代社会における子どもと家族に関するさまざまな社会問題とその背景について理解を深める。子ども家庭福祉の基礎理論をおさえ、法制度や実施体制、社会資源等について学習し、今後の展望について考える。

《テキスト》

吉田幸恵・山縣文治編「新版よくわかる子ども家庭福祉」ミネルヴァ書房

《参考図書》

参考書等は、適宜紹介する

《授業の到達目標》

子ども家庭福祉の諸課題を検討するための視座を涵養し、制度や支援の方策を理解する。保育所・児童福祉施設などの福祉現場、幼稚園・小学校などの教育現場での実践に役立つ知識の習得を目標とする。

《授業時間外学習》

予習として、配付資料の事前学習を求める場合もある。授業後、教科書および配付資料の読み直しによる復習が大切である。授業の内容をまとめる課題を復習として求めることがある。

《成績評価の方法》

平常点 25% 授業課題 25% 定期テスト 50%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の概要、目的、授業の進め方等
2	子ども家庭福祉の理念	子ども家庭福祉の現状と基本的考え方
3	子どもの権利(1)	子どもを取り巻く環境、子ども観
4	子どもの権利(2)	子どもの権利条約にみる子ども家庭福祉の課題
5	子どもの権利(3)	子どもの権利保障
6	子ども家庭福祉の展開(1)	欧米の子ども家庭福祉
7	子ども家庭福祉の展開(2)	日本の子ども家庭福祉①
8	子ども家庭福祉の展開(3)	日本の子ども家庭福祉②
9	制度と支援(1)	子ども家庭福祉と政策
10	制度と支援(2)	保育所ほか児童福祉施設
11	制度と支援(3)	子ども家庭福祉の援助の基本
12	制度と支援(4)	地域の子育て家庭への支援
13	制度と支援(5)	さまざまな状況にある子どもへの支援
14	グループワーク・発表	子ども家庭福祉について考える
15	まとめ	今後の展望